

令和4年度 社会《第1学年》年間指導計画

担当（森山真一 藤井高）

社会	教科の目標
課題を追究したり、解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成すること	

社会	第1学年の目標
地理	（１）我が国の国土及び世界の諸地域に関して、地域の諸事象や地域的特色を理解するとともに、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けること （２）日本の地域に関わる諸事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて公正に選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養うこと （３）日本や世界の諸地域に関わる諸事象について、国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うこと
歴史	（１）我が国の歴史の大きな流れを世界史を背景に、近世の日本と近代の日本と世界の特色を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けること （２）歴史に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代とのつながりに着目して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し複数の立場や意見を踏まえて公正に選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う （３）歴史に関わる諸事象について、国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うこと

※【知】は「知識・技能」、【思】は「思考・判断・表現」、【態】は「主体的に学習に取り組む態度」

週に2時間を森山が主に歴史的分野を、1時間を藤井が主に地理的分野を担当

月	単元名	学習内容	評価規準		評価資料
4	地域構成	○緯度と経度、大陸と海洋の分布、主な国々の名称と位置 ○日本の国土の位置、世界各地との時差、領域の範囲や変化とその特色	【知】	・緯度と経度、大陸と海洋の分布、主な国々の名称と位置などを基に、世界の地域構成を大観し理解している。 ・我が国の国土の位置、世界各地との時差、領域の範囲や変化とその特色などを基に、日本の地域構成を大観し理解している。	A・B
			【思】	・世界の地域構成の特色を、大陸と海洋の分布や主な国の位置、緯度や経度などに着目して多面的・多角的に考察し、表現している。 ・日本の地域構成の特色を、周辺の海洋の広がりや国土を構成する島々の位置などに着目して多面的・多角的に考察し、表現している。	A・B・C・D
			【態】	・世界の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。 ・日本の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	A・B・C・D
5	1 1 時間				
6	歴史の流れと時代区分	○年代の表し方や時代区分 ○西暦、世紀、元号の意味と使い方。	【知】	・年代の表し方や時代区分の意味や意義についての基本的な内容を理解している。 ・資料から歴史に関わる情報を読み取ったり、年表などにまとめたりするなどの技能を身に付けている。	A・B
			【思】	・時期や年代、推移、現在の私たちとのつながりなどに着目して、歴史上の人物や文化財、出来事などから適切なものを取り上げ、時代区分との関わりなどについて考察し表現している。	A・B・C・D
			【態】	・過去を継承しつつ、現在に生きる自身の視点から歴史に問いかけ、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	A・B・C・D
7	5 時間				
8	古代までの日本	○世界の古代文明や宗教のおこり ○日本列島における農耕の広まりと生活の変化や当時の人々の信仰、大和朝廷（大和政権）による統一の様子と東アジアとの関わり ○律令国家の確立に至るまでの過程、摂関政治 ○仏教の伝来とその影響、仮名文字の成立	【知】	・「古代までの日本」の学習内容を理解し、そのその知識を身に付けている。	A・B
			【思】	・「古代までの日本」の歴史的事象を相互に関連付けるなどして、古代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。 ・「古代までの日本」を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現している。	A・B・C・D
			【態】	・「古代までの日本」について、よりよい社会の実現を視野にそこに見られる課題を主体的に追究しようとしている。	A・B・C・D
9	世界各地の人々の生活と環境	○地域の気候の特色や人々の生活のようす ○暑い地域・乾燥した地域・地中海性気候・寒い地域・高地の気候の特色や人々の生活の特色や課題 ○世界の主な宗教の分布	【知】	・人々の生活は、その生活が営まれる場所の自然及び社会的条件から影響を受けたり、その場所の自然及び社会的条件に影響を与えたりすることを理解している。 ・世界各地における人々の生活やその変容を基に、世界の人々の生活や環境の多様性を理解している。 ・世界の主な宗教の分布について理解している。	A・B
			【思】	・世界各地における人々の生活の特色やその変容の理由を、その生活が営まれる場所の自然及び社会的条件などに着目して多面的・多角的に考察し、表現している。	A・B・C・D
			【態】	・世界各地の人々の生活と環境について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	A・B・C・D
9	9 時間				

10	世界の諸地域 アジア州 ヨーロッパ州	○アジア州の人口増加と急激な経済発展について、アジア州に暮らす人々に与える影響やそれによって生じる課題 ○ヨーロッパ州で見られるEU統合や文化の多様性に関わる課題の要因や影響	【知】	・アジア州をいくつかの地域に分けて人口増加と急激な経済発展によるさまざまな影響を整理し、地域ごとの違いをふまえながらアジア州全体の地域的特色や課題を理解している。 ・ヨーロッパ州に暮らす人々の生活をもとに、ヨーロッパ州の地域的特色を大観し、EU統合や文化の多様性に関わる課題が地域的特色の影響を受けて独自の様相を見せていることを理解する。	A・B
			【思】	・他地域との結びつきやアジア州という地域に着目し、人口増加と急激な経済発展を取り上げて、アジア州に暮らす人々に与える影響やそれによって生じる課題を多面的・多角的に考察、表現させる。 ・他地域との結びつきや地域などに関わる視点に着目して、EU統合や文化の多様性に関わる課題の要因や影響をヨーロッパ州の地域的特色と関連付けて、多面的・多角的に考察し、表現している。	A・B・C・D
			【態】	・人口増加と急激な経済発展を中心に、アジア州に暮らす人々に与える影響やそれによって生じる課題を主体的に追究し解決しようとしている。 ・日本との比較をまじえながら、ヨーロッパ州の人々の生活に関心をもち、地域的特色及びEU統合や文化の多様性に関わる課題を意欲的に追究しようとしている。	A・B・C・D
11	14時間	中世の日本 ○鎌倉幕府の成立、元寇（モンゴル帝国の襲来） ○南北朝の争乱と室町幕府、日明貿易、琉球の国際的な役割、武家政治の展開 ○農業など諸産業の発達、畿内を中心とした都市や農村における自治的な仕組みの成立、武士や民衆などの多様な文化の形成、応仁の乱後の社会的な変動	【知】	・「中世の日本」の学習内容を理解し、その知識を身に付けている。	A・B
			【思】	・「中世の日本」の歴史的事象を相互に関連付けるなどして、中世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。 ・「中世の日本」を大観して、時代的特色を多面的・多角的に考察し、表現している。	A・B・C・D
			【態】	・「中世の日本」について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	A・B・C・D
12	近世の日本 ○ヨーロッパ人來航の背景とその影響、織田・豊臣による統一事業とその当時の対外関係、武将や豪商などの生活文化の展開 ○江戸幕府の成立と大名統制、身分制と農村の様子、鎖国などの幕府の対外政策と対外関係 ○産業や交通の発達、教育の普及と文化の広がりなどを基に、町人文化が都市を中心に形成されたことや、各地方の生活文化 ○社会の変動や欧米諸国の接近、幕府の政治改革、新しい学問・思想の動き	【知】	・「近世の日本」の学習内容を理解し、その知識を身に付けている。	A・B	
		【思】	・「近世の日本」の歴史的事象を相互に関連付けるなどして、中世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。 ・「近世の日本」を大観して、時代的特色を多面的・多角的に考察し、表現している。	A・B・C・D	
		【態】	・「近世の日本」について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	A・B・C・D	
1	18時間		【知】	・アフリカ州の人々の生活や産業的特色を歴史的背景をふまえて理解しているとともに、資料からアフリカ諸国とヨーロッパ諸国との関係の深さを調べまとめている。 ・多様な民族が暮らすアメリカ合衆国において、広大な国土を利用して大規模な農業が行われていることや世界をリードし続けている工業の姿について理解しまとめている。	A・B
2	10時間	世界の諸地域 アフリカ州 北アメリカ州	【思】	・一つの国が輸出品を特定の農産物や鉱産資源にたよるようになった原因を追及し、そのような貿易形態の問題点を多面的多角的に考察し、解決に向けて選択・判断している。 ・北アメリカ州の地域的特色や課題を、そこに暮らす人々の生活のようすをもとに、多面的・多角的に考察している。	A・B・C・D
			【態】	・モノカルチャー経済やヨーロッパとの関係に着目しながら、アフリカ州の地域的特色に関心を高め、課題の解決を主体的に追究しようとしている。 ・世界に大きな影響を与える北アメリカ州の産業や文化について主体的に追究し、課題を解決しようとしている。	A・B・C・D
			【知】	・多様な文化を受け入れながら独自の文化を形成してきた歩みと、経済成長をとげた国とそうでない国とが共存する地域の姿を理解するとともに、ブラジルでは経済発展が進む一方で、経済格差などの問題が生じていることを、本文や資料から調べまとめている。 ・自然環境の影響を受けながら生活するオセアニア州に暮らす人々のようすと、多文化社会の問題点を克服しながら多様な民族が共存するオーストラリアやニュージーランドの社会を理解するとともに、地図や統計資料などから、オセアニア州とアジア州との深い関係を調べまとめている。	A・B
3	9時間	世界の諸地域 南アメリカ州 オセアニア州	【思】	・近年の顕著なブラジルの経済成長の要因と、経済成長とともに環境問題が起きていることやその解決を多面的・多角的に考察している。 ・オセアニア州の国々が、旧宗主国であるヨーロッパの国と密接な関係を保ちながら、近年アジアとのつながりを深めている理由や課題を多面的・多角的に考察している。	A・B・C・D
			【態】	・多民族の共存や近年の経済成長に着目しながら、南アメリカ州の地域的特色と農地や鉱山の開発の地域に対する影響を主体的に追究し、解決しようとしている。 ・広大な海洋を背景に展開される生活や、オーストラリアやニュージーランドの多文化社会に着目しながら、オセアニア州の地域的特色や地域の新たな課題を主体的に追究、解決しようとしている。	A・B・C・D